

R3年度事業内容

南会津地域の基盤産業のひとつである観光産業を「稼ぐ」観光として確立させ、持続的な地域づくりを担う産業に成長させるため、「稼ぐ」観光検討会を立ち上げ、地域が連携して課題に取り組んでいく体制を整備するとともに、データ分析に基づく観光戦略づくりを行っていくため、観光客動向調査や実証ツアー実施によるデータ収集、効果検証を行っていく。

①「稼ぐ」観光検討会の立ち上げ

1 検討会の立ち上げ

様々な分野のプレイヤーや関係機関・団体による、検討・連携の場を設ける。

2 課題・認識の共有

南会津地域の観光における現状・課題の共有を行う。

3 「稼ぐ」観光のための戦略づくり

- ・観光客動向調査や実証ツアーの結果をもとに、「稼ぐ」観光のため、南会津地域として取り組む方向性を検討していく。
- ・ワーキンググループを設置し、データ収集や実証ツアーの実施内容について検討を行う。

**町村を跨いだ繋がりづくり、
南会津地域での連携体制構築**

②観光客動向調査

1 観光客・宿泊者へのアンケート調査

「稼ぐ観光検討会」の参加施設等に協力を募り、来訪者を対象にアンケート調査を実施。

2 観光施設・宿泊施設調査

「稼ぐ観光検討会」の参加施設等に協力を募り、自施設の入込客数、客属性、観光消費額単価等を調査。

3 位置情報を活用した人流調査

携帯電話位置情報データを活用し、南会津地域への人の流れを「見える化」する。

どのような客層に、当地域のどのような商品、サービスが評価されるか、どのような課題があるか、具体的に分析し、共有

③実証ツアー

1 実証ツアーの実施

- ・限られた国内観光需要の中、選ばれる観光地となるための「南会津ならではの旅行商品」について、「稼ぐ」観光検討会において、企画を検討。
- ・ターゲット像を設定し、実証ツアーを実施。
- ・どのような点が評価され、どのような課題があるのかを検証するとともに、プロモーション方法や実施体制の課題を洗い出し、ツアー商品化につなげる。

**「稼ぐ観光商品」の
企画検討、実証**

R4年度実施予定

1 南会津地域全体として取り組む「方向性」の取りまとめ

観光客動向調査、実証ツアーの実施結果の共有・課題分析を行い、南会津地域が観光で稼ぐために、関係者が連携して南会津地域全体として取り組む方向性を取りまとめる。

2 観光客動向調査

対象施設、調査回数を増やした上で、前年度実施の動向調査を継続して実施。

3 旅行商品の造成、販売

前年度の動向調査、実証ツアーの結果、検討会での検討内容を踏まえ、南会津ならではの観光商品を造成し、PR、販売を行う。

R2年度の振興局の取組

○ヒアリングの実施

多様化・個別化する観光需要に対応することができる商品や体験を掘り起こすためのヒアリングを実施。

○モニターツアーの実施

県内在住者を対象に、「南会津ならではの魅力」になり得る可能性のある「縁結び」「森の暮らし」をテーマとしたモニターツアーを実施。